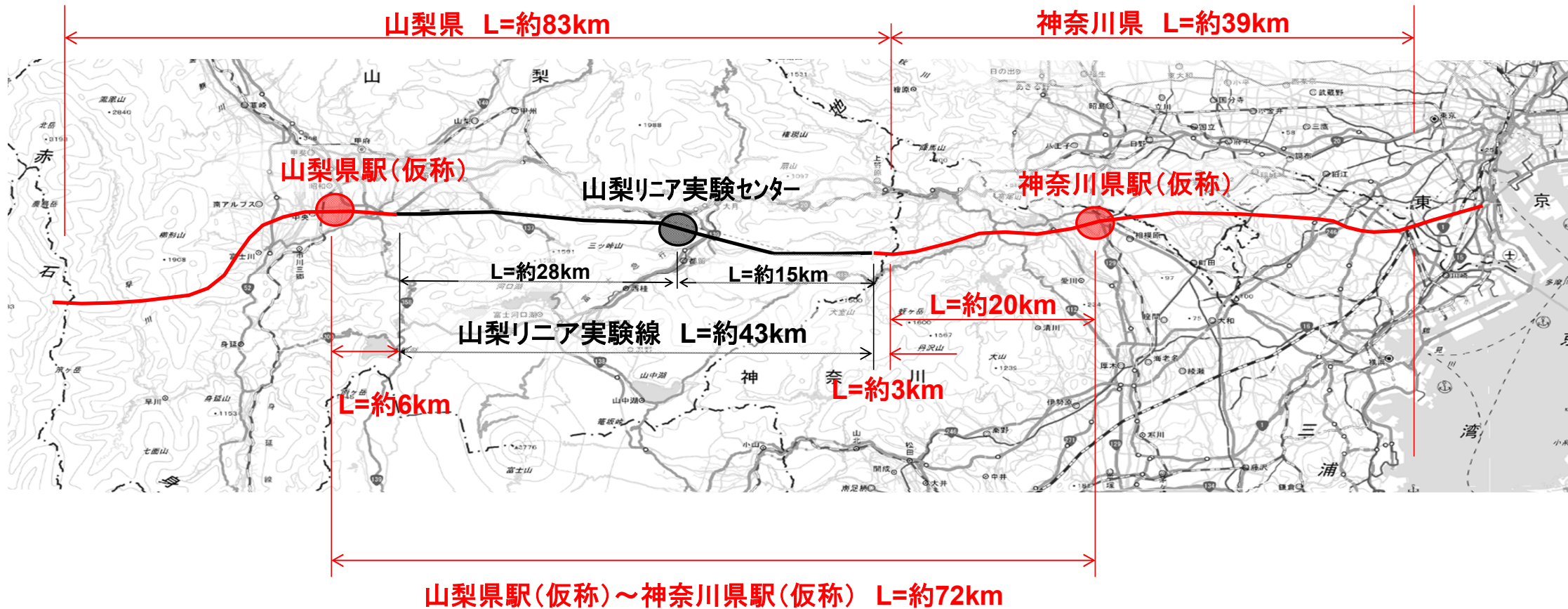


リニア中央新幹線関連資料



【資料1】 山梨県～神奈川県のリニア中央新幹線 建設工事 位置図



【説明】

- ・ 実験線が既に43km整備されているため、東に23km、西に6km延伸すれば、山梨県駅(仮称)～神奈川県駅(仮称)が完成する。
言い換えれば、「山梨リニア実験線の延伸・完成」となる。

【資料2】

リニア中央新幹線 整備方針等

○経済財政運営と改革の基本方針2022(抜粋)(2022年6月7日)(閣議決定)

・リニア中央新幹線について、水資源、環境保全等の課題解決に向けた取組を進めることにより品川・名古屋間の早期整備を促進するとともに、全線開業の前倒しを図るため、建設主体が2023年から名古屋・大阪間の環境影響評価に着手できるよう、沿線自治体と連携して、必要な指導、支援を行う。

○自由民主党／政務調査会 総合政策集2022 J-ファイル(抜粋) (2022年6月16日)(参院選)

226 超電導リニアの整備

超電導リニア(超伝導磁気浮上式鉄道)については、品川－名古屋間の早期開業と、その建設工事に伴う水資源と自然環境への影響の回避・軽減の両立を図っていきます。

○リニア中央新幹線建設促進期成同盟会 決議 (抜粋) (2022年6月3日)

・東京・名古屋間については、工事実施計画に基づき着実に事業を進め、早期整備を図ること。特に、静岡工区については、国及び東海旅客鉄道株式会社が、水資源・自然環境への影響の回避・軽減とリニア中央新幹線の早期実現を両立させる観点から、有識者会議の議論を積極的に進めるとともに、地元自治体の理解を得ながら早期着手を図ること。

【説明】 2022年6月、閣議決定、参院選自民党公約及びリニア中央新幹線建設促進期成同盟会決議において、本県が主張してきた「リニア中央新幹線整備と水資源・自然環境保全との両立を目指す」と同趣旨の内容が、一斉に盛り込まれた。

【資料3】

リニア中央新幹線南アルプストンネル工事 静岡工区の順序

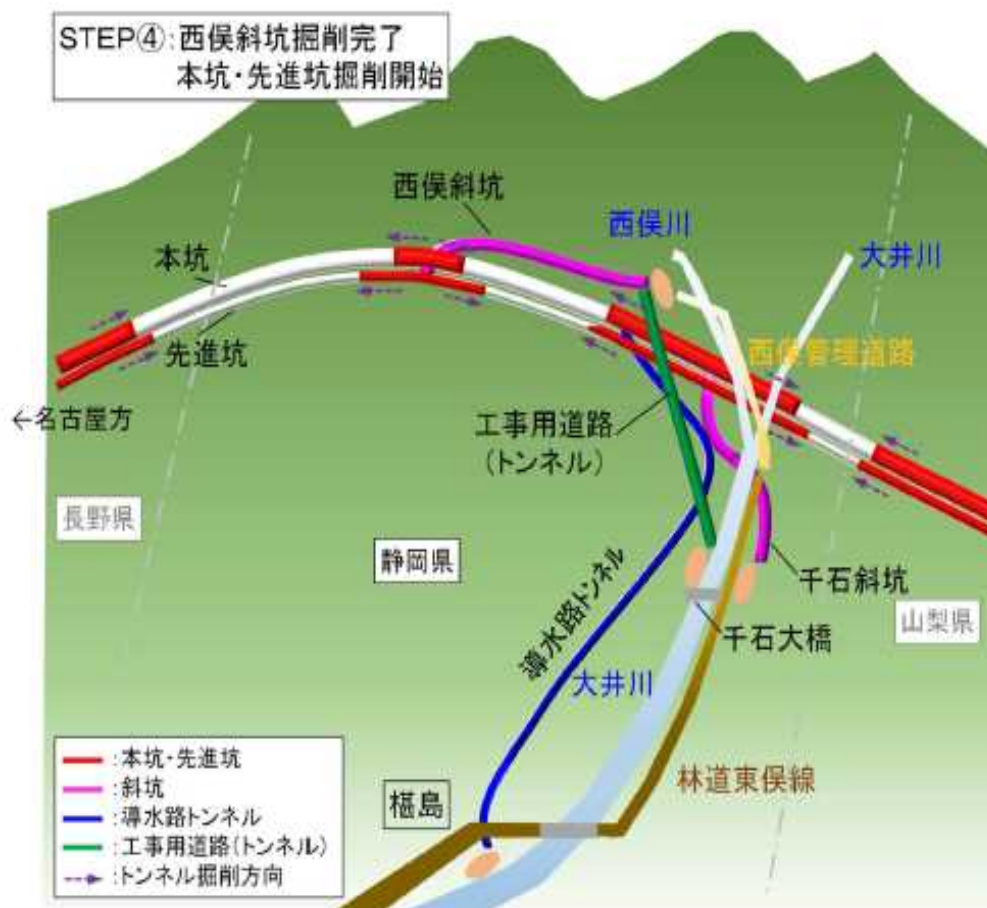


図: 第9回生物多様性部会専門部会(2022年3月24日)におけるJR東海資料より引用
表はJR東海資料を基に静岡県作成

段 階	工事用 トンネル	千石 斜坑	西俣 斜坑	導水路 トンネル	先進坑	本坑
延 長 断面積	L=3,930m A=45m ²	L=3,070m A=80m ²	L=3,490m A=80m ²	L=11,400m A=10~20m ²	L=8,940m A=35m ²	L=8,940m A=100m ²
S T E P ① 掘削開始	開始	開始	開始	開始	未	未
S T E P ② 工事用トンネル 掘削完了	完了	掘削中	掘削中	掘削中	未	未
S T E P ③ 千石斜坑 掘削完了		完了	掘削中	掘削中	開始	開始
S T E P ④ 西俣斜坑 導水路トンネル 掘削完了			完了	完了	掘削中	掘削中
S T E P ⑤ 先進坑 ・本坑 掘削完了					完了	完了

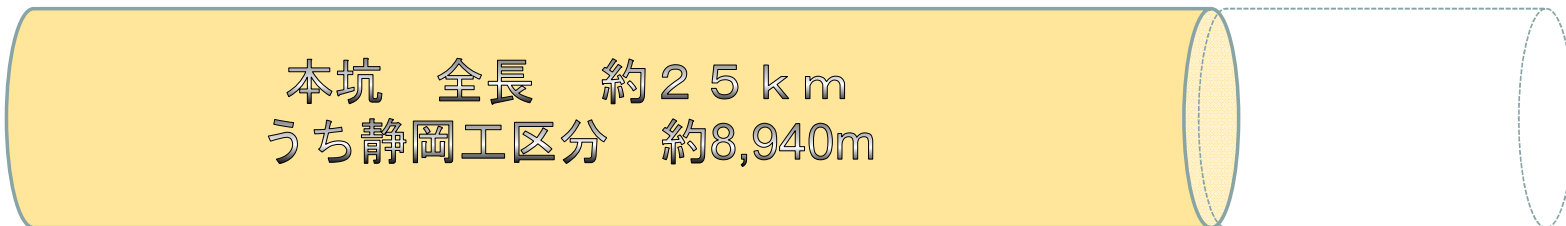
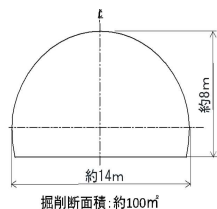
【説明】

先進坑及び本坑の掘削を開始する前に、工事用トンネル、千石及び西俣の斜坑、導水路トンネルの掘削を始める必要がある。全トンネルの総延長は約40kmになり、工事により膨大な土砂が発生する。

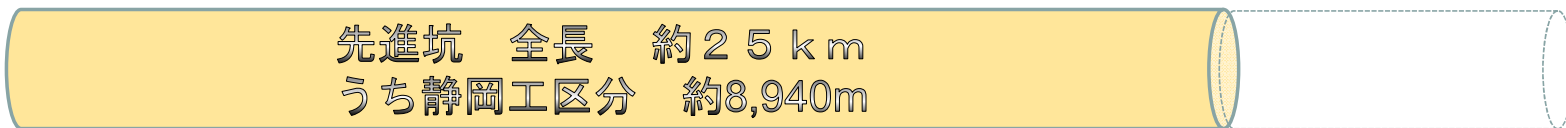
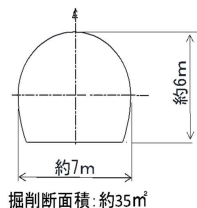
【資料4】

各トンネルの規模

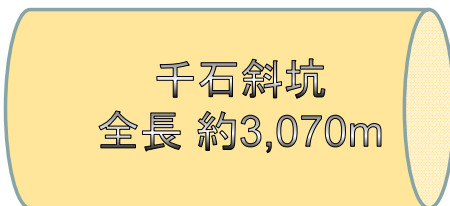
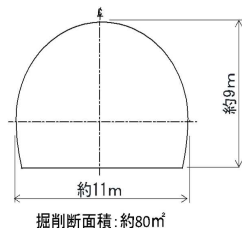
本坑



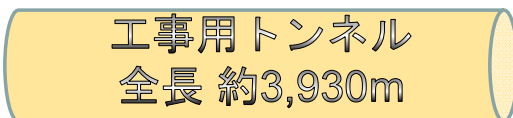
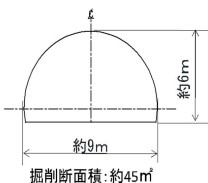
先進坑



千石斜坑
西俣斜坑

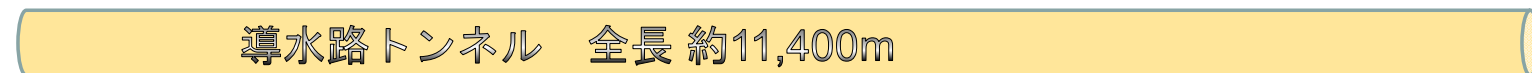
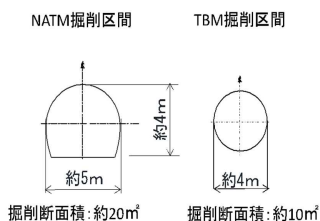


工所用
トンネル



第9回生物多様性部会専門部会(2022年3月24日)に
おけるJR東海の資料より引用、県が加筆作成

導水路
トンネル



【資料5】

JR東海が実施した静岡・山梨県境付近 断層帯の調査結果

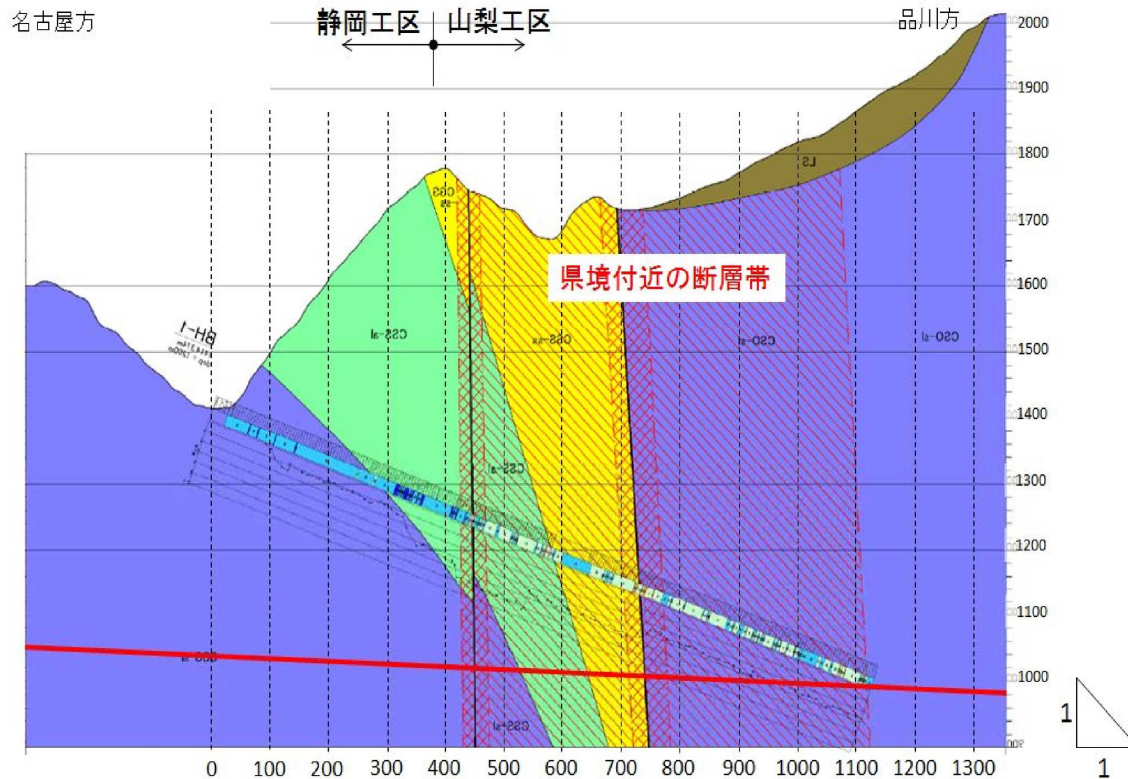


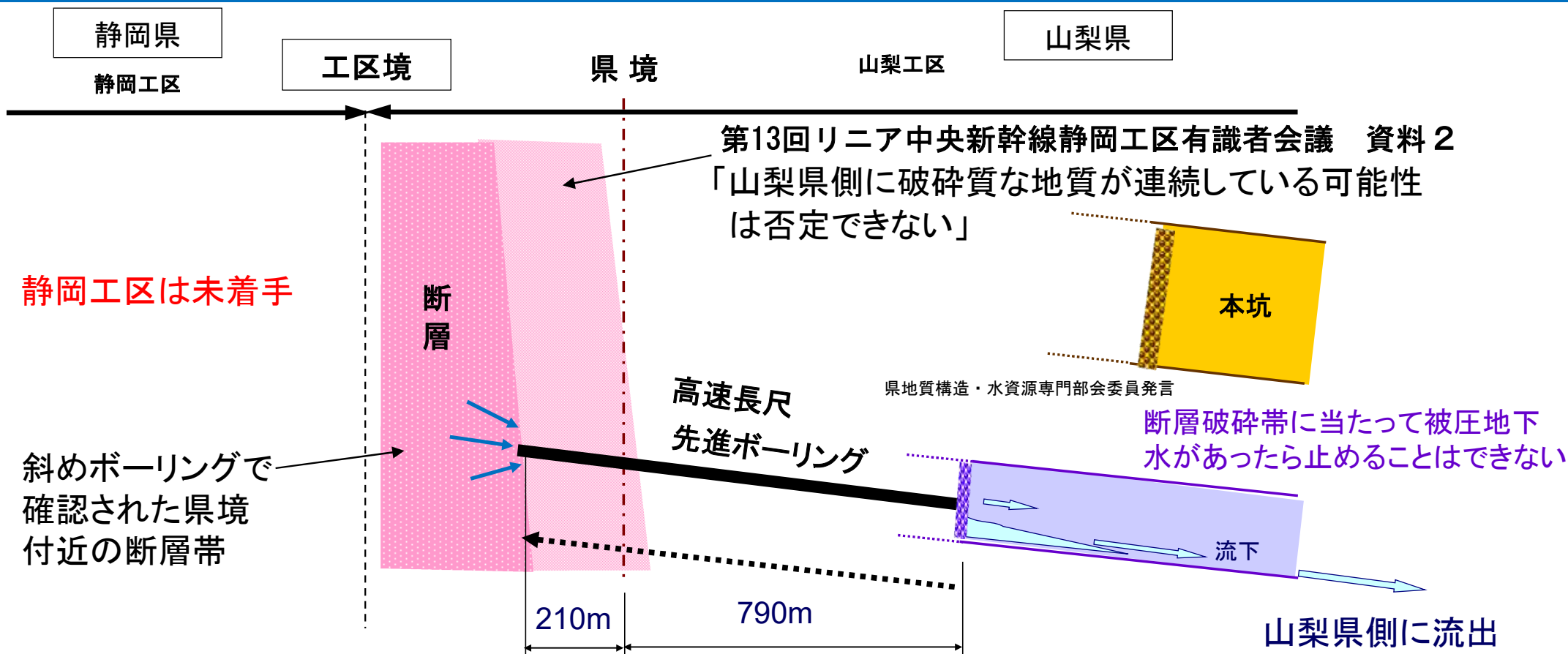
図 10-10 ボーリング調査結果（県境付近の断層帯）

出典：第13回リニア中央新幹線静岡工区有識者会議資料2【別冊】大井川水資源利用への影響の回避・低減に向けた取組み（案）

- ボーリング深度360m以深において、口元湧水量が急激に増加し、最大口元湧水量が約2,600L/分を記録。
- 調査区間より山梨側の地質の確認はできていない。よって、ボーリング調査結果よりさらに山梨側へ破碎質な地質が連続している可能性は否定できない。

【資料6】

高速長尺先進ボーリングの湧水の山梨県への流出



第10回静岡県地質構造・水資源専門部会 J R 東海説明

「調査終了後、ボーリング孔口にバルブを設置し湧水の流出を止められる構造といたしますが、基本的には山梨県内における工事の安全を考慮し、その量を継続的に測定の上で湧水を流す計画です。」

「断層帯まで多分行けないと思っていて、だけど1000m級のボーリングをやるので、そこまでの調査をやらせてもらいたい」